

糸魚川市立学校教育環境整備方針

令和 7 年 9 月
糸魚川市

市発展の原動力は、未来を担う人づくりにあるとの考えに立ち、糸魚川市教育大綱に掲げる『「わがいといがわ」の人づくり』の理念のもと、「ひとみかがやく日本一の子ども」を育てるため、0 歳から 18 歳までを見通した子どもたちの育成に継続して取り組んでいます。

少子化が加速度的に進行する中であっても、当市の未来を担う子どもたちにとって、より質の高い教育環境を提供できるよう「糸魚川市立学校教育環境整備方針」を策定します。

1 方針

* 1 * 2
中学校区単位を基本とした 小中一貫教育学校 又は義務教育学校を
設置します。

学 校 数

- ・ 中学校は、4 校とします。
- ・ 小学校は、各中学校区内に 1 校又は 2 校とします。

施設の形態

- ・ 小学校と中学校が同じ校舎となる「一体型」又は小学校と中学校が別の校舎で教育活動を行う「分離型」とします。

重要な視点

- ・ 「ひとみかがやく日本一の子ども」の育成
- ・ 地域とともに歩む開かれた学校づくり
- ・ 安全安心で豊かな教育環境の提供

* 1 一貫教育学校とは、小学校、中学校の区別はあるが、小中学校が同じ目標で 9 年間の義務教育を一貫して行う学校。

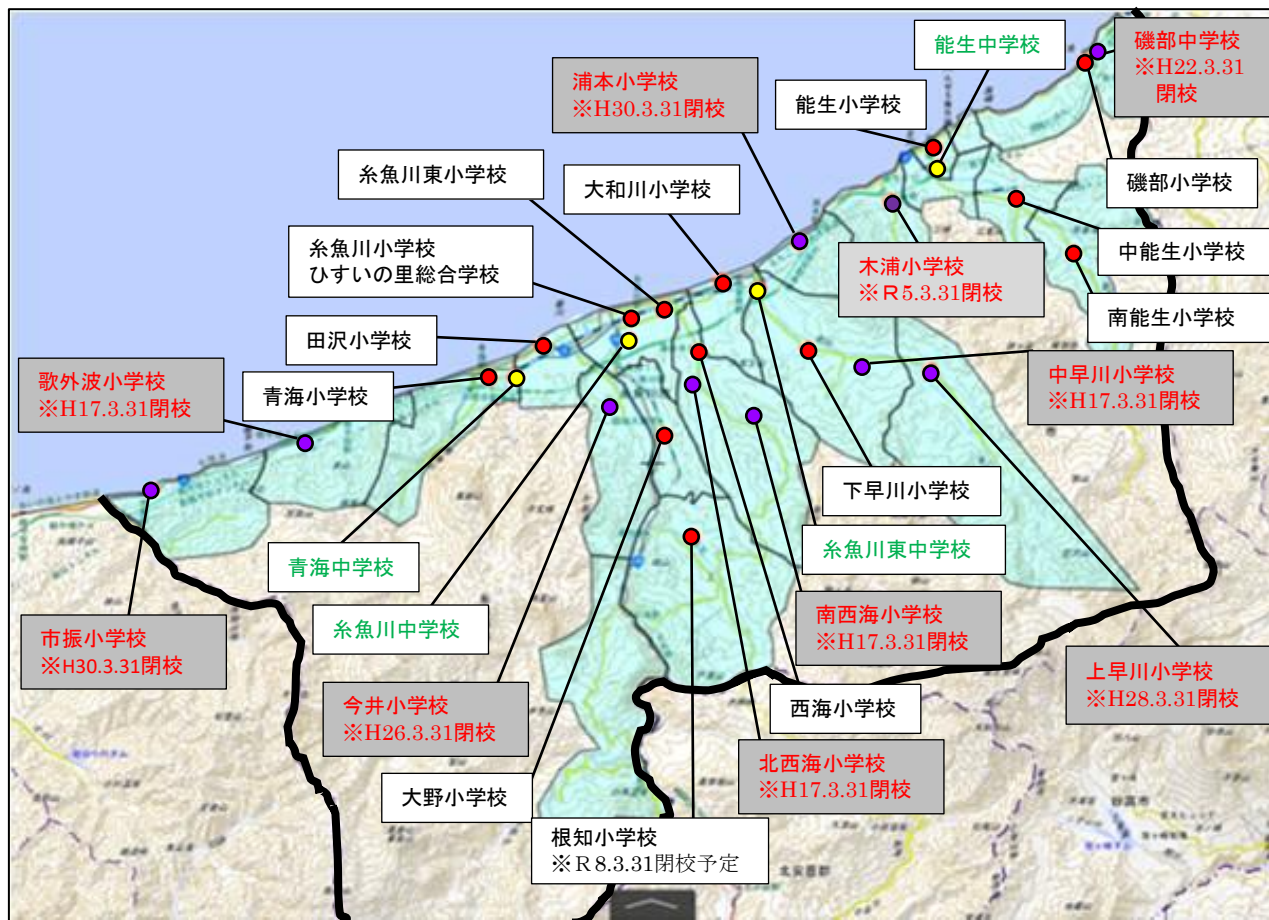
* 2 義務教育学校とは、小学校と中学校の区別をなくし、9 年間の義務教育を一貫して行う学校。

2 教育環境整備の推進

- (1) 方針を踏まえ、当市の教育環境における望ましい姿や計画の進め方について検討するため、糸魚川市立学校教育環境整備計画検討委員会を設置します。
- (2) 検討委員会での検討を踏まえ、「糸魚川市立学校教育環境整備計画」を策定します。計画には、新たな学校の配置や継続して活用する校舎のイメージなどを示すとともに、地域とともに歩む開かれた学校づくりの基本的な考え方を示します。

1 市立学校の配置状況

(令和7年5月1日現在)



● 小学校 ● 中学校 ● 閉校した学校 ※水色のエリアは公民館エリアを示します。

■地域別学校数

(平成17年3月19日現在)

地域別	小学校	中学校	特別支援学校	合計
糸魚川地域	13	2	0	15
能生地域	5	2	0	7
青海地域	4	1	0	5
合計	22	5	0	27



(令和7年5月1日現在)

地域別	小学校	中学校	特別支援学校	合計
糸魚川地域	7	2	1	10
能生地域	4	1	0	5
青海地域	2	1	0	3
合計	13	4	1	18

R7-H17	△ 9	△ 1	1	△ 9
--------	-----	-----	---	-----

2 市立学校一覧（令和7年5月1日現在）

No.	区分	学校名	児童生徒数	学級数		建物	
						建築年	経過年数
1	小 学 校	磯部小学校	26	3	(1)	2011	13
2		能生小学校	157	6	(2)	1973	51
3		南能生小学校	17	3	(1)	1984	40
4		中能生小学校	38	4	(1)	1988	36
5		下早川小学校	61	5	(2)	1981	43
6		大和川小学校	139	6	(3)	1985	39
7		西海小学校	45	5	(2)	2005	19
8		糸魚川東小学校	294	12	(4)	1979	45
9		糸魚川小学校	329	12	(7)	2012	12
10		大野小学校	40	4	(1)	1999	25
11		根知小学校	10	2	-	1972	52
12		田沢小学校	145	6	(3)	2006	18
13		青海小学校	97	6	(2)	1972	52
14	中 学 校	能生中学校	126	6	(2)	1992	32
15		糸魚川東中学校	126	6	(2)	1995	29
16		糸魚川中学校	420	13	(6)	1996	28
17		青海中学校	142	6	(3)	1987	37
18	特支	ひすいの里総合学校	28	7	-	2012	12

※学級数の()は特別支援学級数であり、学級数に含んでいません。

※ひすいの里総合学校の学級数は小学部・中学部の合計です。

3 児童生徒数（令和7年5月1日現在）

（1）小学校

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	※参考 H17		
									児童数	増減	増減率
1	磯部	5	3	4	4	4	6	26	105	-79	-75.2%
2	能生	19	25	20	30	32	31	157	277	-120	-43.3%
3	南能生	5	3	2	3	1	3	17	47	-30	-63.8%
4	中能生	4	7	3	8	4	12	38	106	-68	-64.2%
5	下早川	5	11	12	5	16	12	61	148	-87	-58.8%
6	大和川	23	19	14	26	32	25	139	282	-143	-50.7%
7	西海	6	7	4	8	15	5	45	111	-66	-59.5%
8	糸魚川東	51	45	53	49	49	47	294	330	-36	-10.9%
9	糸魚川	39	66	61	48	50	65	329	565	-236	-41.8%
10	大野	8	9	4	5	9	5	40	105	-65	-61.9%
11	根知	2	0	2	2	0	4	10	44	-34	-77.3%
12	田沢	17	21	20	26	26	35	145	312	-167	-53.5%
13	青海	14	15	12	18	21	17	97	210	-113	-53.8%
合計		198	231	211	232	259	267	1,398	2,642	-1244	-47.1%

（2）中学校

		1年生	2年生	3年生	合計	※参考 H17		
						児童数	増減	増減率
1	能生	43	40	43	126	297	-171	-57.6%
2	糸魚川東	40	46	40	126	251	-125	-49.8%
3	糸魚川	128	126	166	420	539	-119	-22.1%
4	青海	45	61	36	142	261	-119	-45.6%
合計		256	273	285	814	1,348	-534	-39.6%

（3）特別支援学校

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	※参考 H25		
									児童数	増減	増減率
ひすいの里総合								28	19	9	47.4%
	小学部	3	3	0	5	2	2	15	11	4	36.4%
	中学部	5	3	5	-	-	-	13	8	5	62.5%

4 今後の児童生徒数の見込み

(1)小学校

学校名\年度		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R17	R27
1	磯部	学 級 数	3	3	3	3	3	-	-
		人 数	23	24	22	20	19	15	14
2	能生	学 級 数	6	6	6	6	6	-	-
		人 数	155	142	132	127	117	100	83
3	南能生	学 級 数	3	2	2	1	1	-	-
		人 数	14	13	10	8	5	0	0
4	中能生	学 級 数	3	3	3	3	3	-	-
		人 数	30	30	24	24	22	24	20
5	下早川	学 級 数	6	5	6	5	5	-	-
		人 数	61	52	53	46	42	39	32
6	大和川	学 級 数	6	6	6	6	6	-	-
		人 数	133	119	107	101	91	89	74
7	西海	学 級 数	5	4	4	4	3	-	-
		人 数	43	34	30	30	27	29	24
8	糸魚川東	学 級 数	12	11	11	11	10	-	-
		人 数	295	277	271	251	237	188	156
9	糸魚川	学 級 数	12	12	12	12	12	-	-
		人 数	307	307	303	282	255	211	174
10	大野	学 級 数	4	5	5	5	5	-	-
		人 数	51	48	46	44	41	32	27
11	田沢	学 級 数	6	6	6	6	6	-	-
		人 数	125	111	101	97	83	93	77
12	青海	学 級 数	6	6	6	6	6	-	-
		人 数	92	84	77	77	70	62	51
	合計	学 級 数	72	69	70	68	66	-	-
		人 数	1,329	1,241	1,176	1,107	1,009	884	732

※根知小学校は令和7年度末に大野小学校に統合

※特別支援学級については、人数は含んでいるが、学級数には含んでいない。

人数の記載について

- ・ R13までは現在の人口に基づく人数を記載
- ・ R17、R27の人数は、国立社会保障人口問題研究所の糸魚川市全体の人口推計値を基にR7からの変化率を掛けて算出したもの
(R7→R17は小学生64%、中学生60%に減少、R7→R27は小学生53%、中学生49%に減少)
そのため、学校単位で見たとときに、R13と比較してR17、R27が増加している場合があるが、単純にその学校の人数が増える見込みということではない。

(2) 中学校

学校名\年度			R8	R9	R10	R11	R12	R13	R17	R27
1	能生	学 級 数	6	6	6	5	4	3	-	-
		人 数	135	136	138	115	112	100	76	62
2	糸魚川東	学 級 数	4	4	4	4	3	3	-	-
		人 数	123	126	117	106	88	86	76	62
3	糸魚川	学 級 数	12	12	12	12	12	12	-	-
		人 数	380	377	361	359	363	357	252	206
4	青海	学 級 数	6	6	6	5	4	3	-	-
		人 数	158	144	143	123	112	99	85	70
	合計	学 級 数	28	28	28	26	23	21	-	-
		人 数	796	783	759	703	675	642	489	400

※特別支援学級については、人数は含んでいるが、学級数には含んでいない。

■学級数による教職員の配置（令和7年度新潟県基準）

【小学校】

- ・ 3学級になると教職員（校長・教頭・教諭）は5人となり、事務職員の配置がなくなります。
- ・ 2学級になると教職員（校長・教頭・教諭）は3人となり、養護教諭等の配置がなくなります。

【中学校】

- ・ 3学級になると教職員（校長・教頭・教諭）は8人となり、事務職員の配置がなくなります。
- ・ 2学級になると教職員（校長・教頭・教諭）は6人となり、養護教諭等の配置がなくなります。

■学級編制の基準（令和7年度新潟県基準）

【小学校】

- ・ 1～2年生 32人/1学級（新潟県の基準） *国は35人/1学級
- ・ 3～6年生 35人/1学級
- ・ 複式 16人/1学級（1学年を含む場合は8人/1学級）

【中学校】

- ・ 全学年 35人/1学級 ※下限25人（新潟県の基準） *国は40人/1学級
- ・ 複式 8人/1学級